

研究名：学童～成人期の好酸球性消化管疾患に対する多種食物除去治療、症例集積研究

1．研究の目的

学童～成人の好酸球性胃腸炎（以下本症）は、従来から原因不明とされ、ステロイド内服が唯一の治療でした。長期に症状が持続する場合、特に成長期の患者にとってステロイド内服の副作用が懸念されます。一方近年、乳幼児期の好酸球性胃腸炎の原因が、非 IgE 依存性食物アレルギーであると判明しつつあり、食餌療法の効果が高いことがわかってきました。このため、学童～成人においても多種食物同時除去とその後の原因特定が効果を見せると考えられる。これを 10 名の本症患者に実施しました。結果について症例集積研究を行います。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2007 年 4 月～2017 年 9 月までに好酸球性胃腸炎と診断された方のうち、6 歳以上で、多種食物除去治療を受けられた患者さん。

研究期間：2017 年 12 月～**2024 年 3 月**

研究方法：当センター電子カルテから患者さんの好酸球性胃腸炎治療に関する医療情報を写させていただきます、解析します。

3．研究に用いる情報の種類

症状の種類、程度、血液検査結果、治療結果、原因食物種類など。

すべての情報は、匿名化して扱われます。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

論文、学会発表などで結果を公開します。この場合も患者さんの個人情報は特定されない方法を採用します。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、 月 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター アレルギー科 野村伊知郎

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181、内線 7365、ダイヤルイン 03-5494-7473

研究責任者：

国立成育医療研究センター アレルギー科 野村伊知郎